

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業家教育 I Entrepreneur Education I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	特になし。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学 I・II、ビジネス実務総論、ビジネス実務演習 I・II、マーケティング				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学 I、ビジネス実務総論、ビジネス実務演習 I、マーケティング				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
長江 庸泰	本館 2F (研究室1)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
はじめて起業家教育を学ぶ人を対象とする。本授業では食品製造業の起業をモデルとして、起業のための一連の手続きを学習する。製品の開発、衛生管理などを座学を中心に行うが、商品の販売活動は秋季に行われる「みかも祭」で実施する。したがって、受講生はできるだけ起業家教育 II まで受講してほしい。受講生は起業学習の体験を通して自分の適性や「生きがい」を認識してほしい。				
授業の目標				
① 起業に必要な基本的な手続きを説明できるようにする。 ② 組織における自分の役割を自覚して、そのための具体的な行動がとれるようにする。 ③ 起業家精神にもとづいて自主的に問題解決のための行動がとれるようにする。				
授業の方法				
本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等のアクティブラーニングを活用しながら、起業に精通した人材育成を目指すものである。				
学習の成果（学習成果）				
起業活動の一連の手続きと現実的な販売活動を通じて 組織における自分の役割や責任を認識し組織におけるチームワークの重要性や自分の職務遂行における主体的行動の必要性を認識し、コミュニケーション能力やチャレンジ精神、問題解決能力を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	今、何故、起業が叫ばれるのか(開業率と閉業率、経済の国際化・情報化、少子高齢化)			
第3回目	キャリアとしての起業			
第4回目	起業のメソッド/(グループワークによるプレゼンとディスカッション①)			
第5回目	佐野短大起業家教育における起業教育の狙いと内容			
第6回目	企業の設立(グループ別け、役職決定)、企業設立の法的手続き			

第7回目	商品開発のための市場調査①（アンケート調査項目の検討）	
第8回目	商品開発のための市場調査②（アンケート調査の実施） アンケート/(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)	
第9回目	商品開発のための市場調査③（アンケート調査の分析・評価）	
第10回目	ビジネスプランの作成①（ビジネスプランの概要と商品の決定）	
第11回目	ビジネスプランの作成②（商品決定）	
第12回目	ビジネスプランの作成②（商品価格の決定、予想売上高・費用・利益の決定）	
第13回目	ビジネスプランの作成②（商品価格の決定、予想売上高・費用・利益の決定）	
第14回目	食品製造業における衛生管理/(グループワークによるプレゼンとディスカッション③)	
第15回目	商品の開発	
事前・事後学習	事前学習(シラバスの学習ポイントを自分で調べ、質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを見直しながら、1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜き、3)自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	以下の3点から評価する：①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	Sのレポートの評価：①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。
調査報告書		
小テスト	40%	グループワークによるプレゼンテーション力のS評価：①内容が創意工夫した発表となっている、②グループの意見が論理的に述べられている、③グループで協働し、積極的に質疑応答に臨んでいる。
試験		
発表内容（態度含む）	20%	Sのレポート発表評価：①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
その他		上記評価基準に基づき成績評価：S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59
教科書と参考図書		
		長江庸泰作成の“デジタルテキスト[起業家教育 I 2018年度版]”を活用する。
履修上の留意点・ルール		
		本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けましょう。